

長嶺電機株式会社

高性能なNC形鋼加工機を導入し、
形鋼材製品の製造革新と新開発

代表取締役 長嶺 義貢

Background

経緯

当社では、鋼材の切断・加工用の切断機が老朽化したことで鋼材部品の加工に時間がかかり、配電盤や分電盤などの製品づくりの工程を圧迫していた。そこで、この課題を解決しようと設備投資を計画するが、資金面がうまくいかずに断念せざるを得ない状況が数年続いていた。今回、本事業に採択され、その念願の計画を進めることができた。

Content

事業内容

硬いステンレスや5ミリ厚の鋼材もスピーディーに切断、穴あけなどの加工ができる高性能なNC形鋼加工機のアイアンワーカーを板金工場へ導入。ターンテーブルによって金型の交換の時間短縮も図れるなど、多彩な機能を持つ同機によって、形鋼材の切断・加工時間がどれだけ短縮できるかについて挑戦した。アイアンワーカーは導入直後から大活躍し、技術の担当者を喜ばせた。



アイアンワーカー正面

Result

成果

アイアンワーカーは、鋼材を機械にセットして切断・加工までを行う作業時間を約5分の1に短縮した。また、熟練技術者が2人体制で行ってきた作業が1人で行えるようになった。このように大幅な作業効率の向上が図られたことによって、製品づくりに必要な部品のストックが安定し、作業の全工程において時間的なゆとりが生まれた。さらに、熟練技術者は、別の複雑な加工作業に取り組むことができるようになり、人材のさらなる有効活用も図ることができた。



製作物

Outlook

今後の展望

アイアンワーカーによって生まれた時間的なゆとりと、当社が培ってきた技術やノウハウを活かして、新たな製品づくりにも積極的に取り組み、ビジネスの拡大を図っていきたい。その一歩として、これまで顧客から声をかけていただいても日々の製品づくりに追われて遠慮していた形鋼材製品などに取り組んでいきたい。